

## (臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院に脳卒中で入院され、リハビリテーション評価を実施させていただいた患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

急性期の脳卒中患者の平均栄養摂取量と骨格筋量・歩行能力の関係についての後ろ向き観察研究

### 2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 理学療法士 村川 佳太

### 3. 研究の目的

近年、栄養状態や骨格筋機能が注目されている。臨床現場で、食事摂取量が十分でない中等症の脳卒中患者が、栄養状態を顧みられずに、画一的なリハビリテーション治療を余儀なくされている場合も少なくないが、脳卒中後、特に急性期の摂取栄養量・骨格筋量と歩行能力との関係を調査した研究はない。そこで、本研究では、中等症の脳卒中患者の入院期間中の栄養摂取量と退院時の歩行能力との関係から、栄養摂取量の骨格筋量や機能的転帰への影響を検討する。

### 4. 研究の概要

#### (1) 対象となる患者さん

脳梗塞・脳出血の患者さんで、西暦2018年4月1日から西暦2021年3月31日までの期間中に、リハビリテーション治療を受けた方

#### (2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、基本情報、脳卒中の重症度、体組成成分評価、身体・運動機能評価、栄養摂取評価等に関する情報です。

#### (3) 方法

電子カルテから上記の調査項目を抽出します。

症例集積後、様々な仮説に対する統計的評価を検討します。

### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

### 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

## 7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曽部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 理学療法士 村川 佳太

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834 E-mail : murakawa.keita@ajinkai-group.com